

加陽湿地でモニタリング調査を実施しました

なかすじ
～中筋小学校の子供たちと一緒に魚類・昆虫を調査～



R7.10.10

豊岡河川国道事務所では、出石川加陽地区に整備した大規模湿地の整備効果の把握を行うとともに、住民や子供たちの出石川や加陽湿地への関心を高めるため、平成23年（2011年）より継続的にモニタリング調査を実施しています。

今回は、加陽地区づくり委員会協力のもと、中筋小学校5年生の子供たちと一緒に魚類・昆虫の調査を実施しました。

調査の概要

事前学習：令和7年9月11日（木）8:40～10:30

現地調査：令和7年9月11日（木）13:00～15:00

令和7年9月12日（金）13:00～15:30

場所：加陽湿地、加陽水辺公園交流館

参加者：児童16名（中筋小学校5年生）、先生2名

講師：豊岡市立コウノトリ文化館 北垣先生

加陽地区づくり委員会2名、豊岡市2名

豊岡河川国道事務所5名

調査位置図



現地調査 1 日目

虫取り網を片手に昆虫採集を行い、採れた昆虫の生態などについて調べました。その後、班ごとに分かれ定置網ともんどりを設置しました。また、水質調査は、透視度計などの測定器具を使用した体験をしました。



虫取り網での昆虫採集



定置網やもんどりの設置



透視度計で水質の調査

ペットボトルもんどりを仕掛ける際も、予想した魚がいそうな場所を考え、慎重に仕掛ける児童もいました。水質調査では、透視度計やPH測定器具を使用することで、データの数値からも水質を知ることができました。

現地調査 2 日目

前日に仕掛けた定置網ともんどりを回収し、魚やエビを観察。採れた魚が前日の予想とあっているか確認し、結果を発表しました。



定置網やもんどりの引き上げ



北垣先生に今回とれた生き物を教わりながら観察



班ごとに調査結果の発表

事前学習で予想した魚と実際に採れた魚を比べた結果、予想した通りの魚が採れていた班が多くありました。自分たちで予想調査で確認することで、自然環境や学習に対する興味や理解を深めることができました。

事前学習

円山川の概要や加陽湿地、河川環境について学習した後、湿地の形状別に3班に分かれ、過去に見つかった魚を見ながら、どんな魚がいるのか予想して一覧表を作成・発表しました。また、罠となるペットボトル（2リットル）もんどりを作りました。



国土交通省から円山川の概要についての説明

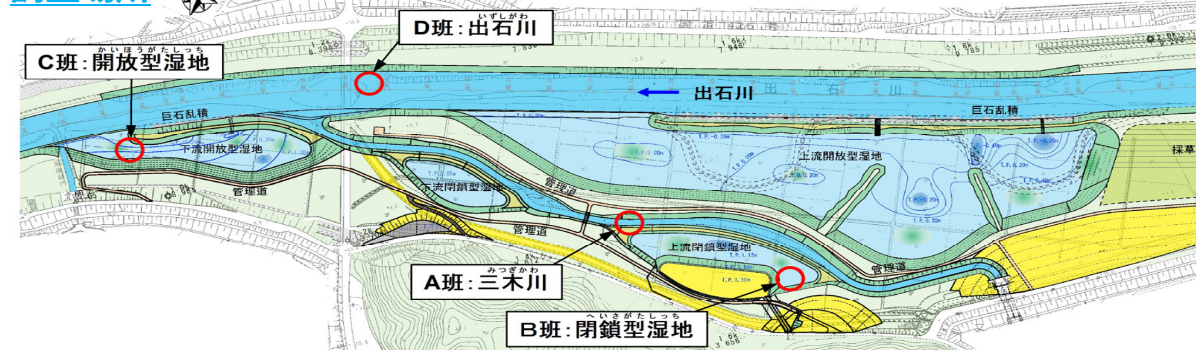


先生と今回調査で見つかりそうな魚類を予想



もんどり作成作業

調査場所



児童の感想 新しい種類の魚がとれてうれしかった。
いろいろな種類の生き物がいることがわかって楽しかった。
予想より多くの種類の魚がいることがわかった。

【問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局
豊岡河川国道事務所 流域治水課
〒668-0025
兵庫県豊岡市幸町10-3
TEL 0796-22-3126（代表）

